



# ヨコハマまちかど政治 かわら版

発行 自民党かながわ1区支部  
編集長 平木 茂  
平成22年7月12日号

2010年  
7月号

No.91

自民党

中区・磯子区・金沢区

神奈川1区  
支部長

松本純



松本純ホームページ 毎日更新中! [http:// www.jun.or.jp](http://www.jun.or.jp) ▶ 検索キーワード「松本純」

## 自民「改選第1党」を奪還!

### 責任ある政治へ「チームかながわ」始動します

参議院通常選挙得票数 (平成22年7月11日執行)



		中区	磯子区	金沢区	神奈川1区	神奈川県
有権者数		113,449	135,527	170,986	419,962	7,294,561
投票率		52.40%	57.47%	59.82%	57.06%	55.56%
投票者数		59,450	77,891	102,276	239,617	4,052,943
順位	候補者名	党	得票数	得票数	得票数	得票数
1当	小泉あきお	自民	14,132	19,062	24,813	58,007
2当	中西けんじ	みんな	13,030	15,180	21,057	49,267
3当	かねこ洋一	民主	10,161	13,955	18,459	42,575
4	ちば 景子	民主	10,031	13,920	18,319	42,270

民主党政権に国民の審判が下った今回の参院選で、私たち自民党は51議席を獲得、「改選第1党」を奪還しました。昨年の政権交代で悔しい思いをした私たちは、この10カ月間の与党の暴走、迷走をストップさせようと訴え、責任政党として政治改革の旗を掲げて闘いました。民意が民主党を敗北に追い込みました。有権者の皆さんに感謝するとともに、その期待に応えるため、これから始まる国会論戦の場で「責任ある政治」の実現へ奮闘してまいります。



菅義偉県連会長



竹内英明県連幹事長



甘利明衆議



田中和徳衆議



河野太郎衆議



小泉進次郎衆議



松本純衆議

### 「チームかながわ」とは

今回の選挙は、自民党にとって野党として臨んだ初めての本格的な国政選挙で、厳しい試練でした。自らも古い体質を変え、「新しい政治の形」を有権者と一緒になって作り出していく作業でした。党組織へのご批判も受け入れて反省し、時代の要請に応じていく政党への変革にも力を入れました。その結果、若いエネルギーな自民党の姿が皆さんから評価され参院選に結実しました。

その新しい時代の自民党の先頭に立つのが「チームかながわ」と名付けられた神奈川県連のメンバーです。党内で今、「チームかながわ」の活動は先進モデルとされ、政治を変える原動力として全国から注目を集めています。

選挙戦の最中、未来に向けて自民党が進めていかなければならない政策、信頼していただける政治の在り方や役割を明確に皆さんに伝えていかなければならないと考え、6人の現職の衆議院議員を核に、若手の支部長らがキャンペーンを始めました。

日本の未来を託す子どもたちが「日本人として生まれて良かった」と感じてもらえる日本をつくるため「この神奈川が日本の中心」ととらえ、神奈川から出発します。

皆さんとともに、「チームかながわ」のウェーブを広げていきましょう。

いま地域で  
(人・まち・出来事)

歴史と文化による街づくりの先頭に

●NPO法人横浜金沢文化協会 理事長 後藤政也さん

「いろいろな文化活動に取り組んでいますが、金沢区のように歴史、文化が多い区は少ないのではないのでしょうか」と、地域への愛着をもって秋の「金沢区民文化祭」に向けた準備など、忙しく動き回っているNPO法人横浜金沢文化協会理事長の後藤政也さん。

「称名寺や朝比奈切通しなどは世界遺産にも登録できる価値あるものであり、有名な歴史研究家の方の力も借りて武家文化の鎌倉と一緒に世界遺産にできるよう働きかけをしたいと思っています。また、文化遺産の保全や復元、現在区画整理が始まった金沢八景駅前の景観の今後など、考えることが多く頭がいっぱいになります」と、にこやかに話す。

文化協会は、平成7年に設立され、現在は会員数が30団体(約3,000人)と個人130人という大きな団体。志として、金沢文庫を創設して学芸振興を進めた北條実時を追慕し歴史と文化による街づくりを活動の目標にしています。最近では、青少年伝承事業の「塩作り教室」「海苔作り教室」や文化財保全事業である「旧川合玉堂別邸運営」「博文公文化財指定改築」などに取り組みしました。

「大きな問題としては、これだけ歴史と文化のある金沢区に満足な文化ホールやギャラリーがないことです。今、何とかして文化ホールが作れるよう推進事業を進めています」と、さらに文化を核にした街づくりに奮闘中です。



旧川合玉堂別邸前にて

松本議員の活動記録

2010年  
6月～7月

《6月》

- 5日●参院選金沢区支部決起大会
- 6日●参院選磯子区支部決起大会
- 9日●自民党ネットサポーターズクラブ設立総会
- 10日●消費者問題調査会  
●コージーファーマシー創業120周年記念祝賀会
- 13日●参院選中区支部決起大会
- 14日●松本純 政経セミナー in 横浜

- 18日●屋城一之氏瑞宝単光章を祝う会
- 19日●横浜市立小田小学校創立20周年記念式典
- 23日●中区遺族会総会・慰安会
- 27日●実践倫理宏正会京浜金沢支部設立25周年記念朝起会

《7月》

- 4日●神奈川県女性薬剤師会総会
- 10日●金沢区薬剤会通常総会



6/24「チームかながわ」桜木町街頭演説会



6/24 参院選での候補者決起大会



7/4「チームかながわ」元町商店街街頭演説会



7/5 自民党神奈川県連拡大選対会議

みんなの声

●マニフェストという言葉に、みんな、だまされていましたね。昨年の総選挙を「マニフェスト選択」とイメージを競い合った結果がおかしなことになり、今や国民は、民主党のマニフェストを「信用できないもの」の代名詞のような意味に使っています。自民党には正々堂々、「公約」を掲げ地道に闘ってほしいと期待しています。(中区男性)

●民主党の批判でなく、自民党が何をしたいのかわかりやすく説明してほしい。国民が何を考え、何を望んでいるのか、直接聞く機会をつくってほしい。大きなパーティーなど開かず、小さなグループを沢山つくって討論会を開いた方がいい。地元の祭りなどで挨拶することも大事だが、地域に入って政治の研究会を沢山開いてほしい。(磯子区男性)

永田町日記

インターネット解禁の選挙のはずが...

今回の参院選は、歴史的な「インターネット解禁」の選挙戦になるはずでした。それがなぜできなかったのか、がっかりです。携帯電話やパソコンで誰もが電子メールで意見交換する情報社会で、インターネットを活用した広報などを、紙のビラ配布と同じ論理で制限してきた公職選挙法は時代遅れになっています。このため今春、各党が合意してネットを使えるよう法改正することにしました。

6月9日には、自民党ネットサポーターズクラブ(J-NSC)の設立総会が党本部で開かれました。インターネットを活用して、パンフレット・ビラの配布をはじめ情報収集や党本部への提言なども行おうと、活動方針が打ち出されました。その様子は動画サイト「ニコニコ動画」でも生中継され、総会は大いに盛り上がりました。ネットによる政治参加の形が変わると期待感であふれていました。それが、選挙直前になって突然、民主党が国会の審議を打ち切ったことで、「解禁」がなくなったのです。これも、ブレた民主党が投げ出した政策の1つでした。(純)